



(郎 孟 木 子 鹿) 嶋 木 男

北海道・瀬戸

内海と

小西

和

香川県立文書館開館30周年記念事業
令和6年度 香川県立文書館企画展示(共催:さぬき市公文書館)

令和6年

10月29日(火)～

12月15日(日)

休館日:毎週月曜日、祝日、11月5日(火)
11月26日(火)～12月1日(日)

開館時間:9時～17時

香川県立文書館1階展示室 入館無料



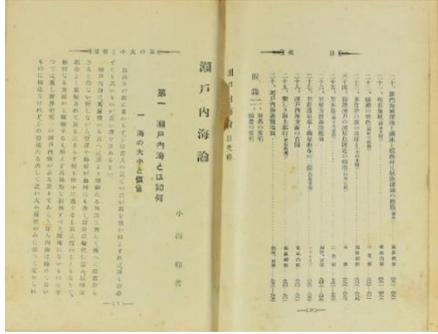
香川県立文書館 〒761-0301 香川県高松市林町 2217 番地 19

香川県立文書館 検索

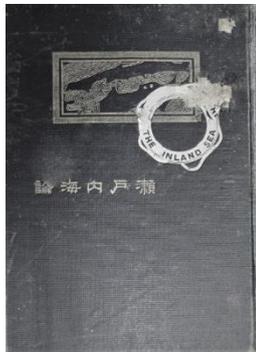


北海道・瀬戸内海と小西和

- ◆第1章 香川県と北海道
- ◆第2章 北海道と小西和
- ◆第3章 瀬戸内海国立公園と小西和
- ◆第4章 瀬戸内海・北前船・北海道

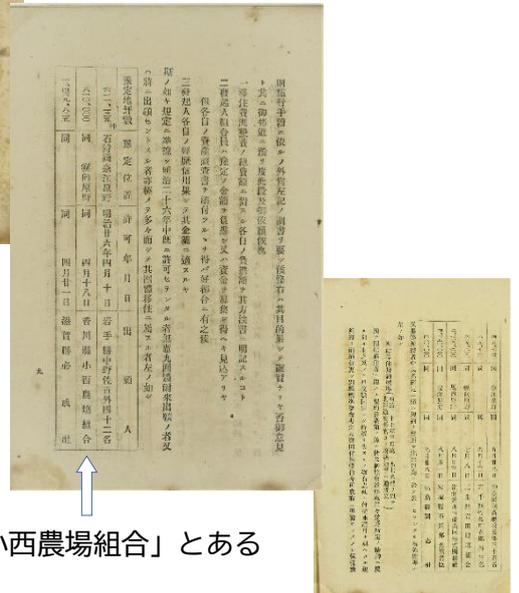


明治6(1873)年寒川郡長尾名村(現:さぬき市)で生まれる。幼名は和太郎。15歳で愛媛県伊予尋常中学校(現:松山東高校)に入学。16歳岡山尋常中学校(現:朝日高校)に転校。18歳札幌農学校(現:北海道大学)予科入学。21歳札幌農学校を退学し小西農場に専念。23歳名前を「和(かなう)」と改名。26歳小西農場の経営が破綻。上京する。28歳東京市役所で勤務。30歳東京朝日新聞社入社。31歳日露戦争の従軍記者として満州へ渡る。帰国後慰労休暇と特別賞与を受け瀬戸内海の研究に没頭する。38歳『瀬戸内海論』を刊行。39歳から63歳まで衆議院議員に7回当選。6回目の当選期間中の昭和5(1931)年。国立公園法が制定される。昭和9(1934)年3月に瀬戸内海が国立公園の第1号として雲仙、霧島とともに指定を受ける。昭和12(1937)年64歳で国会議員を引退。昭和22(1947)年74歳の生涯をとじた。



小西和の著書『瀬戸内海論』
明治44年(1911)12月刊行

北海道移住の栞 第壹編
明治27年(1894)



「香川縣小西農場組合」とある



開拓七十周年記念
小西部落沿革史
昭和38年(1963)



小西開基百年記念誌
平成5年(1993)



◆バスをご利用の方

- [JR 高松駅] または [ことでん瓦町駅] からことでんバス
- 【65】 レインボー サンメッセ香川・フジグラン十川行き → **県立図書館・文書館前** 下車 → 徒歩2分
- 【61】 サンメッセ香川・フジグラン十川行きもしくは【63】 サンメッセ西植田行き → **サンメッセ香川** 下車 → 西へ徒歩約10分

◆電車をご利用の方

- [ことでん伏石駅] で下車し、
- ことでんバス『伏石駅・サンメッセ線』に乗り換え → **県立図書館・文書館前** 下車 → 徒歩2分

◆車をご利用の方

- 無料駐車場がございます (図書館と共用)